

**Q: PM メンテナンスツール使用時、CSV ファイル加工の際、ログイン ID など、
先頭の桁に0があるとき、表示されない**

A: PM メンテナンスツールより、「個人マスタ」の CSV ファイルをエクスポートする。

※先頭に0が付くユーザーID およびログインID の場合、エクスポートされたファイルのユーザーID
およびログインID の先頭に0が付く値が含まれています。

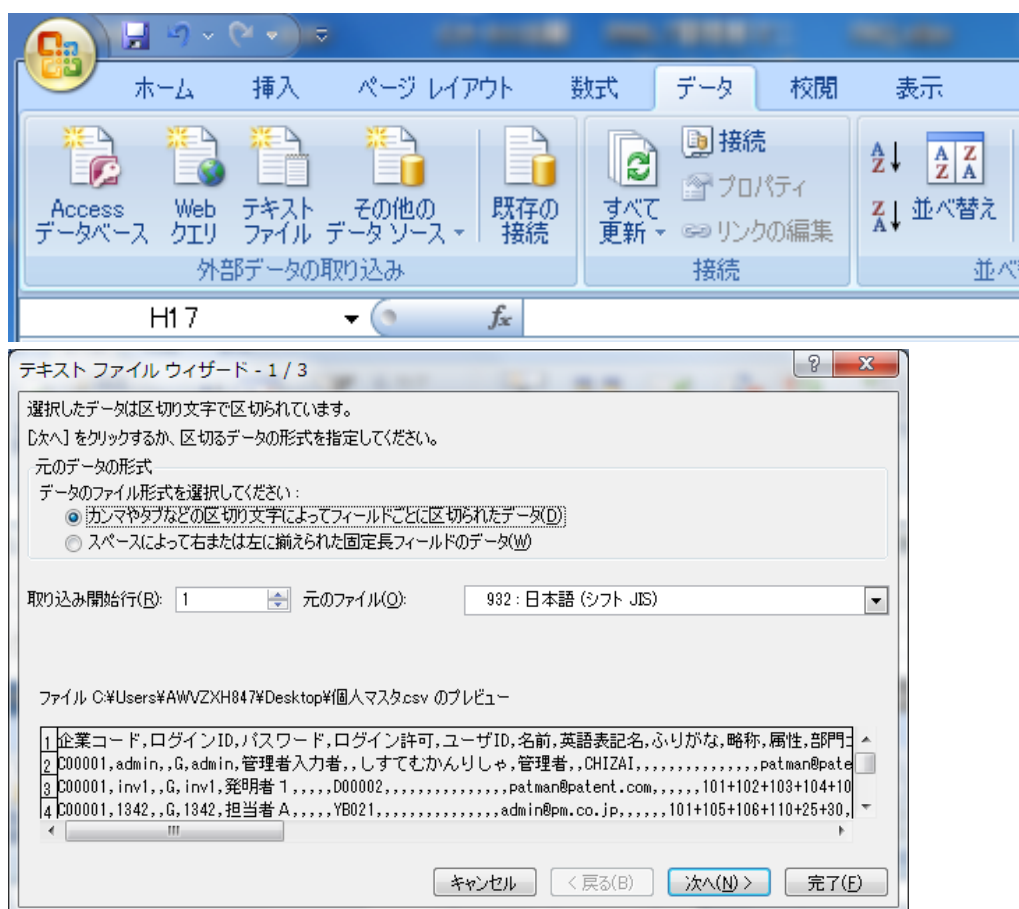
※この「個人マスタ」の CSV ファイルを Excel で開くと、ユーザーID およびログインID の先頭の0
が落ちてしまい、整数でない数値は最初の0が消えてしまいます。

※「個人マスター」を例に記載いたしますが、「組織マスター」の場合も同様です。

CSV ファイルの0 落ちを回避する方法

1. 空の Excel を開く。

「個人マスタ」の CSV ファイルを選択して、「インポート」ボタンをクリックする。



2. 区切り文字で「カンマ」を選択する。

テキスト ファイル ウィザード - 2 / 3

フィールドの区切り文字を指定してください。[データのプレビュー] ボックスには区切り位置が表示されます。

区切り文字

☐ タブ(T)

☐ セミicolon(M)

☒ カンマ(C)

☐ スペース(S)

☐ その他(O):

☐ 連続した区切り文字は 1 文字として扱う(B)

文字列の引用符(Q):

データのプレビュー(P)

企業コード	ログインID	パスワード	ログイン許可	ユーザID	名前	英語表記名	ふりがな
C00001	admin		G	admin	管理者入力者		しすてもかんりしゃ
C00001	inv1		G	inv1	発明者 1		
C00001	1342		G	1342	担当者 A		

キャンセル < 戻る(B) 次へ(N) > 完了(F)

3. 全項目を選択し、データ形式を「文字列」に変更します。

テキスト ファイル ウィザード - 3 / 3

区切ったあとの列のデータ形式を選択してください。

列のデータ形式

☐ G/標準(G)

☒ 文字列(T)

☐ 日付(D): YMD

☐ 削除する(D)

[G/標準] を選択すると、数字は数値に、日付は日付形式の値に、その他の値は文字列に変換されます。

詳細(A)...

データのプレビュー(P)

G/標準	文字列	G/標準	G/標準	文字列	G/標準	G/標準	G/標準
企業コード	ログインID	パスワード	ログイン許可	ユーザID	名前	英語表記名	ふりがな
C00001	admin		G	admin	管理者入力者		しすてもかんりしゃ
C00001	inv1		G	inv1	発明者 1		
C00001	001342		G	001342	担当者 A		

キャンセル < 戻る(B) 次へ(N) > 完了(F)

4. Excel にインポートしたデータの「ログイン ID」および「ユーザ ID」は 0 埋めがされた状態となります。

Book1 [互換モード] - Microsoft Excel

	A	B	C	D	E	F	G
1	企業コード	ログインID	パスワード	ログイン許可	ユーザID	名前	英語表記名
2	C00001	001342		G	001342	担当者A	
3	C00001	00327		N	003272	発明者0001	
4	C00001	00380		N	003803	発明者0002	
5	C00001	010011		G	010011	法務部門担当者B	
6	C00001	010012		G	010012	法務部門担当者C	
7	C00001	010013		G	010013	事業部所長	
8	C00001	010014		G	010014	知財管理幸太郎	
9	C00001	011001		G	011001	派遣太郎	
10	C00001	011200		G	011200	契約管理者	
11	C00001	011327		N	011327	発明者0001	
12	C00001	012031		G	012031	担当者C	
13	C00001	012119		G	012119	担当者B	
14	C00001	012380		N	012380	発明者0002	